

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 400

事務事業名	おおむら秋まつり助成事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	榎田 百合子	内線	241

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040401	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光交流のまちづくり
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	4	まちづくり推進費	
事業コード	020200	おおむら秋まつり開催費助成事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民、観光客及びおおむら秋まつり協賛会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	1. 地場産品を、市民に広くアピールすることで、地産地消の促進による地域活性化を図る。 2. 郷土芸能など多彩なイベントを開催し、市民交流の場の創出と観光客の誘致を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	おおむら秋まつり協賛会が実施する、「おおむら秋まつり」に対して定額補助する。 <まつりの概要> 平成13年度から「大村まつり」とJA開催の「農林水産まつり・ぼーぶらフェスティバル」を統合し、新たな観光イベントとしてスタートした。 平成19年度からは、シーハット大村 さくらホール駐車場を会場として開催し、地元農産物・物産品の販売、伝統芸能、創作ダンスの披露等、市民が楽しむ祭りを開催。 平成27年度から開催時期等が調整困難なため、JAと別開催。		
事業期間	平成 13 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市商工観光振興事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① イベント数	計画値	33	33	33	33	プログラム数10+ 出店ブース	
		実績値	71	33	50			
	プログラム数+出店ブース		達成度	215.2%	100.0%	151.5%		
	② 出演者数	計画値	600	500	500	500		
実績値		390	450	200				
達成度		65.0%	90.0%	40.0%				
成果指標	① 人出数	計画値	20,000	20,000	20,000	30,000	主催者発表	
		実績値	20,000	32,000	38,000			
	イベント来場者数		達成度	100.0%	160.0%	190.0%		
	② 消費額	計画値	4,772	4,920	4,920	4,920		消費単価は、県観光統計資料を使用
		実績値	4,772	7,872	9,348			
		達成度	100.0%	160.0%	190.0%			
飲食娯楽費(1,230円)×人出数×0.2 ※平成25年度までの飲食娯楽単価は1,193円								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,400	2,400	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,400	2,400	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
② 人件費(千円)	2,033	1,784	1,578	1,793	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.24	0.23	0.22	0.23				
時間外勤務(時間)	63	22.8	13	60				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,433	4,184	3,378	3,593				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度からJAの「農林水産まつり」と別開催となった。平成27年度の秋まつりは、沖田踊、大村獅子舞、三城子供太鼓、和太鼓衆 壱鼓〜Ichi〜の演奏などさまざまな催しを行い、(一社)大村市観光コンベンション協会主催の「ご当地自慢グルメフェアinおおむら」との共催をしたことにより、多くの人出で賑わった。広域交流の拡大を図るため、市外からも参加可能なダンスバトルの開催や伝統芸能の招聘、JR九州ウォーキングとの連携に取り組んだ。
事業が抱える問題・課題等	年々規模の拡大に伴い、イベント会場の手狭感や駐車場の確保が課題になってきている。また、来場者の多くが市民であるため、市外や県外からの誘客を目的とする情報発信・広告等が課題である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地場産品・観光特産品などを広くPRするとともに、郷土芸能など多彩なイベントを実施しており、継続して開催していくことが必要である。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
商工会議所、物産振興協会等で構成する「おおむら秋まつり協賛会」が主催し、事業内容の調整を行いながら実施している。観光及び物産振興による地域経済の活性化のためには、物産振興関係団体と市が一体となって取り組む必要がある。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	H27年度は子供太鼓や、ダンスコンテストを開催し、「ご当地自慢グルメフェアinおおむら」と共催したことで、若者の参加が増し、目標値を達成した。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
他市と比べて、秋の観光資源が乏しいなかで、この時期のイベント開催は観光客誘致に効果がある。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	市の補助金を減額してきている中で、秋まつり協賛会の負担金収入も減額しており、市の補助金増額を含めた負担割合の見直しの余地がある。						

※事業類型が1〜3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	魅力ある秋まつりを開催するため、家族で楽しめるイベントの企画や大村市観光コンベンション協会主催の「ご当地自慢グルメフェアinおおむら」を継続して共同開催し、集客向上と賑わいの創出を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	魅力あるイベント開催による交流人口の拡大と経済効果を図る。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。